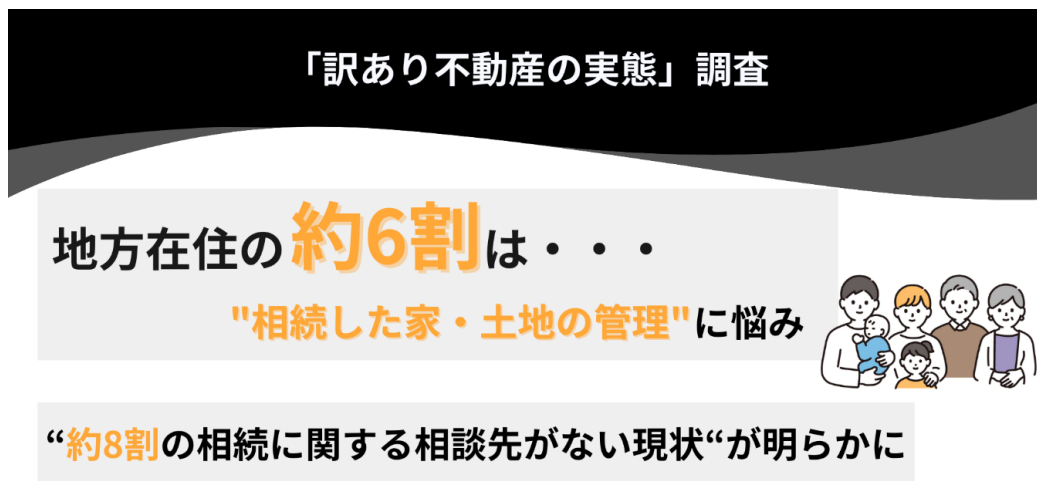


【約 6 割が相続した家・土地の管理に課題】地方在住者の実家移住が進むなか、

“約 8 割の相続に関する相談先がない実態”が明らかに

空き家・訳あり不動産の買取再販サービス「ワケガイ」・空き家・訳あり不動産の C to C プラットフォーム「空き家の URI・KAI」を運営する、株式会社ネクスウィル（本社：東京都港区新橋 代表取締役：丸岡 智幸）は、全国の地方在住者を対象に調査を実施しました。

その結果、「親や親族から土地・家を相続した」と答えた地方在住者のうち約 6 割が、相続した家・土地の管理に不安や悩みを感じると回答。相続に関する不安や悩みがあがるなか、“地方在住者の約 8 割が相続に関する相談先がないといった実態”が明らかになりました。



※NEXWILLによる独自調査(2025年11月実施)

NEXWILL

「訳あり不動産の実態」調査サマリー

- ・ 地方移住者の約 2 割は、「親や親族から土地・家を相続した」「親や親族と一緒に住むことになった」と回答。
- ・ 移住の魅力は「生活コスト（家賃・物価など）」が上位に、
一方で 6 割が移住後の課題として「交通手段に不便さを感じる」を選択
- ・ 実家の相続が理由で移住した人の 6 割が「相続した家・土地の管理」に不安や悩み
- ・ 約 8 割が実家相続に関する相談先が「ない」と回答

調査概要

■ 調査対象

- ・ 地方在住者の男女 500 人

■ 調査実施期間

2025 年 11 月 29 日～12 月 1 日

■ 調査機関

インターネット

■ 調査・集計方法

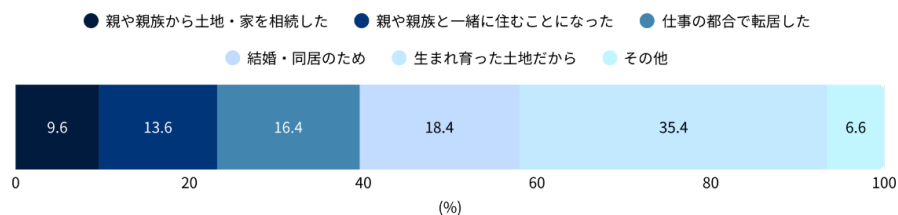
※本リリースの調査結果・画像をご利用いただく際は、引用元として『株式会社ネクスウィル調べ』と明記をお願いいたします。

5人に1人が地方へのUターン移住の背景に「土地・家の相続」「親や親族との同居」

今回の調査では、「親や親族から土地・家を相続した」「親や親族と一緒に住むことになった」などを背景に、実家や生まれ育った土地へのUターン移住を決めた人が約2割を占める結果に。その他には、「結婚・同居のため」や「仕事の都合で転居した」といった回答も多く、都心の物価高やライフスタイルの変化により、居住地の選択肢が広がってきていることがわかりました（図1）。今回の結果からも、“親や親族の事情”が地方移住の大きな動機になっていることが分かります。

図1：現住居選択のきっかけ

Q1. 現在の住居に住むことになったきっかけは何ですか？（単一回答）



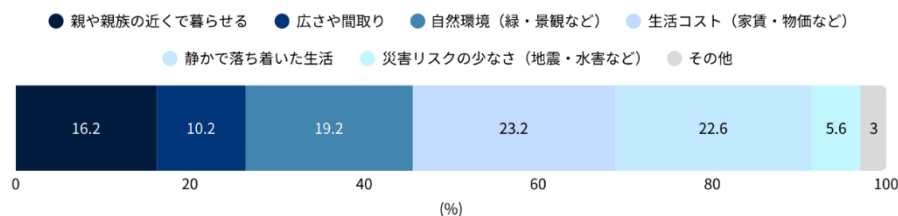
NEXWILL

地方暮らしで感じる魅力は「生活コストの安さ」 一方で、「利便性」「働き先の選択肢の少なさ」が課題に

地方暮らしで特に魅力に感じる点として、5人に1人の人が「生活コストの低さ」を重視しており、物価高が続く中、地方ならではの経済的メリットが評価されました。また、「家族や親の近くで暮らせること」を重視しており、近年問題となっている親の介護やUターン帰省などの背景も魅力としてあげられています（図2）。

図2：地方暮らしの魅力

Q2. 地方（都市部以外）暮らしで特に魅力に感じる点は何ですか？（単一回答）

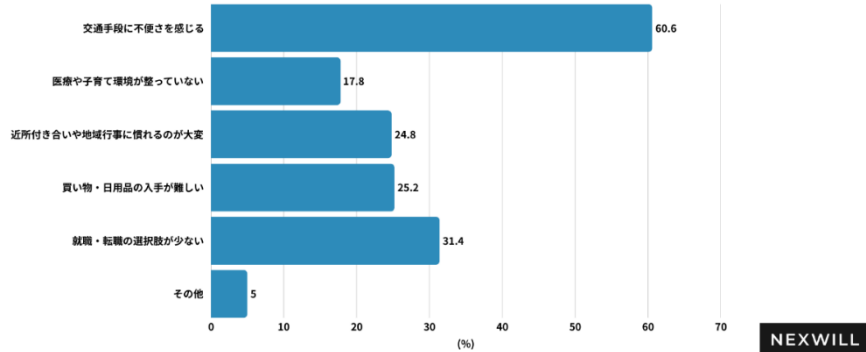


NEXWILL

実際に地方で暮らしていて難しいと感じる点については、約6割の移住者が「交通手段に不便さを感じる」と回答。また、約3割の移住者が「就職・転職の選択肢が少ない」と回答し、地方での働き方に課題を感じている人が多数となっています（図3）。

図3：地方暮らしの難しいと感じた点

Q4. 地方（都市部以外）で暮らしていて、難しいと感じる点は何ですか？（複数回答）



約 6 割の人が相続に関する不安として「家や土地の維持・管理」と回答

相続時の課題として、「管理や維持（固定資産税、修繕、清掃など）」に次いで「税金や費用の負担額」が多く挙げられました。（図 4）。また、相続に関して不安や悩みを抱えている人に、相談先があるかを尋ねたところ、相談先がない人が約 8 割に。実家や土地の維持・管理、家族間の調整など、相続に関する不安や悩みを抱えていても、相談先を見つけれられていない人が大半といった実態が明らかになりました（図 5）。

図4：相続に対する不安点

Q5. ご自身が土地や建物を相続することになった場合、どのような点に不安を感じますか？（複数回答）

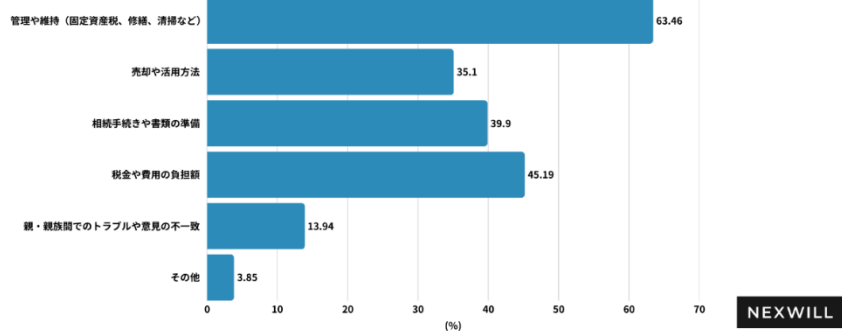
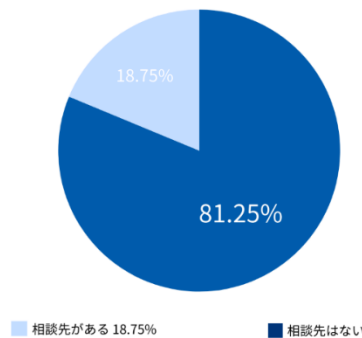


図5：相続時の相談先有無

Q5. 相続に不安を感じた際の相談先はありますか？（単一回答）



NEXWILL

今回の調査では、「親や親族から土地・家を相続した」と答えた地方在住者のうち約 6 割が、相続した家・土地の管理に不安や悩みを感じると回答。相続に関する不安や悩みがあがるなか、“地方在住者の約 8 割が相続に関する相談先がないといった実態”が明らかになりました。

こうした課題に応えるため、ネクスウィルでは、売却や取扱いが難しい「訳あり不動産」を買い取り、権利整理や再販を通じて安心して暮らせる住まいへと再生しています。これにより、住まいの新しい選択肢を広げるとともに、持続可能な住環境づくりに取り組んでいます。

サービス概要



空き家・訳あり不動産の『買取』事業

管理や所有に困っている空き家や、再建築不可の物件、共有名義の不動産などを買い取り、法的知識や専門知識を活かして再び市場に流通させる「空き家・訳アリ不動産の買い取り事業」

URL : <https://wakegai.jp/>



「空き家の URI・KAI」

空き家・訳あり不動産の C to C プラットフォーム

全国の訳あり不動産や空き家の「売りたい人」と「買いたい人」をオンライン上で繋げる C to C プラットフォーム。

URL : <https://uri-kai.com/>

株式会社ネクスウィルについて

当社では、一般的な不動産と比べて、売却が難しいとされる訳あり不動産の買取をし、権利関係を整理するなどの手を加え、取扱や売却が困難とされている要因である"訳"を排除して再販をしています。

訳あり不動産は多くの人々が事故物件を思い浮かべがちですが、訳あり不動産となってしまう原因は多くあります。

相続によって不動産の所有者が複数存在する共有持分、建築基準法の条件を満たしていない再建築不可物件、登記がなされずに相続が繰り返されてしまい最終的には所有者がわからなくなってしまった不動産などが例に挙げられます。

当社ではこういった不動産を買い取り、権利関係の整理などを行い売却可能な状態にする訳あり不動産買取事業「ワケガイ」、不動産を売りたい人、買いたい人をマッチングさせる C to C プラットフォーム「空き家の URI・KAI」というようなサービスを展開しています。

株式会社ネクスウィル 企業概要

会社名 : 株式会社ネクスウィル

所在地 : 〒105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 10-5 PMO 新橋Ⅱ 10 階

代表取締役 : 丸岡 智幸

事業内容 : ・ 訳あり不動産買取事業

・ 空き家、訳あり不動産 CtoC プラットフォーム運営

・ FIRE を目的とした不動産投資事業

HP : <https://www.nexwill.co.jp/>